

本

って楽しいよ! 2024

～家庭読書のすすめ～



夏休みの読書におすすめの本を紹介します!

いしかわ学校読書の日
キャラクター
「ヨムモン」

選書および紹介文作成：石川県立図書館 職員

小学生(低学年)向き

鹿島 和夫/選
ヨシタケ シンスケ/絵
**一年一組 せんせいあのね
こどものつづき
セレクション**



理論社 1,650円(税込)

小学校1年生の子どもたちが日記ノートに書いたつづきの数々に、ヨシタケシンスケさんが絵をつけました。思わずくすつしたり、「そうそう」とうなずいたり。先生やおうちの人、友だちといっしょに読んでみてください。読んだ後は、あなたもつづきを書いてみませんか。

アーノルド・ローベル/作
こみや ゆう/訳
**やまをうごかした
ミン・ローさん**



好学社 1,870円(税込)

大きな山のふもとにすむミン・ローさんとおくさん。山のせいで楽しくできないうちは、もの知りなけんじやに山をうごかさずほうを教えてもらいました。ミン・ローさんはどうやって山をうごかすのでしょうか。とぼけた絵と楽しいお話は、どんな年代の人でも楽しめます。

大塚 美加/文
齋藤 横/絵
**すいぞくかんの
おいしゃさん**



福音館書店 1,100円(税込)

水ぞくかんのおいしゃさんは、生きもののけんこうを守り、びょう気をなおすしごとをしています。今日はマダラエイやタツノオトシゴの体のちょうしがわるいようです。さあ、おいしゃさんの出番です。この本を読んで、水ぞくかんのおいしゃさんの一日をのぞいてみましょう。

小学生(中学年)向き



キム・ヒョウン/文・絵
万木森 玲/訳
わたしは地下鉄です

岩崎書店 1,980円(税込)

韓国・ソウルを走る地下鉄には、毎日たくさんの方が乗ります。会社員のワンジュさん、小さな子どもをつれたユソンさん、くつやのジェソンおじさん…。お客さんひとりずつに生活があり、大切な人生があることに気づかせてくれるすてきな絵本です。



堀川 理万子/作・絵
ひみつだけど、話します

あかね書房 1,320円(税込)

電車の運転士になりたい足立くん、めんどろ見がよいり川さん、生きものが好きでやさしいうっちゃん、学校に行きたくない上田さん。4人はちょっとずつ「ひみつ」を持っています。「ひみつ」を通して4人の心がつながっていく様子を、あたたかい気持ちになります。



金沢 健児/著
**すごいグラウンドの育て方
阪神甲子園球場のひみつ**

Gakken 1,650円(税込)

作者の金沢さんは阪神甲子園球場のグラウンドキーパーです。しばを育て、土を手入れするなどしてグラウンドをきれいにし、球場でプレーする選手たちをささえています。甲子園球場のグラウンドのひみつやグラウンドキーパーの仕事を知ると、野球観戦がますます楽しくなりそうです。

小学生(高学年)向き

松沢 陽士/写真・文
**錦鯉を創る
新潟から世界へ**

小学館 1,430円(税込)

新潟県で100年続く「鯉屋」として錦鯉を育てている和田卓(すぐる)さん。あるコンテストがきっかけで、和田さんはだれも見たことがない錦鯉を創りたいと考えるようになり、錦鯉創りに情熱を注ぐ和田さんの姿と美しい錦鯉が、たくさん写真でつかわれていっています。



アンドリュウ・ノリス/著
千葉 茂樹/訳
起業家フェリックスは12歳

あすなろ書房 1,650円(税込)

フェリックスは友人3人とオンラインショップでカードを売ることを目指して、カードはばく発的にヒットし、かれらのビジネスは大成功したのですが…。ビジネスだけではなく家族のきずなや友情の大切さも教えてくれる、楽しくてさわやかな物語です。



高田 由紀子/作
金色の羽でとべ

小学館 1,540円(税込)

いつか強いアタッカーになりたいと願い、バレーに打ちこむ空良(そら)。ところが、あたえられたポジションはセッターで、さらにはキャプテンを任されることに。空良は練習を通してチームの仲間への理解を深め、成長していきます。がんばる空良と仲間たちを応援しなくてはなりません。



中学生向き



いとう みく/著
夜空にひらく

アリス館 1,760円(税込)

暴力事件を起こして試験観察処分となり、打ち上げ花火の製造所「深見煙火店」で暮らすことになった円人(えんと)。孤独な生い立ちゆえに心を閉ざしていた円人は、周囲の大人たちとの交流の中で徐々に変わっていきます。表紙に描かれた美しい花火が物語のラストシーンと重なります。



荻谷 夏子/著
タカシ 大丈夫な猫

岩波書店 1,650円(税込)

作者はある時、2本足の猫・タカシに出会いました。左側の足だけで駆けていったタカシにひきつけられた作者は、飼い主のケイコさんに話を聞きます。ケイコさんが語るタカシの姿は「ありのまま生きる」「そのまま大丈夫」というメッセージとして心に響きます。



キース・カラブレゼ/著
代田 亜香子/訳
希望のひとしずく

理論社 1,980円(税込)

通称「残念な町」には、願いごとをかなえてくれる古い井戸があります。井戸の秘密を知っているのは3人の中学生。ちょっとした善意が思いがけない方向に転がっていき、やがては町を変えるような奇跡を起こします。ワクワクする展開に、ページをめくる指が止まりません。

高校生向き

堀内 かおる/著
**10代のうちに考えておきたい
ジェンダーの話**

岩波書店 990円(税込)

「男の子だから」「女の子だから」と言われて、モヤッとしたことはありませんか。あなたが生きづらいのは、固定化された「ジェンダー」の意識にとらわれているからかもしれません。本書を読んで「ジェンダー」について知り、「自分らしく生きる」とはどういうことかを考えてみませんか。



ドナ・バーバ・ヒグエラ/著
杉田 七重/訳
最後の語り部

東京創元社 3,080円(税込)

2061年、12歳のペトラは彗星が衝突する地球から脱出し、新天地を目指して家族とともに宇宙船に乗りこみました。380年の眠りののちに新しい星に降り立つはずだったペトラが目覚めた時に見たものは? 「物語」の力を武器に運命を切り開こうとする少女の壮大なファンタジーです。



伊与原 新/著
宙わたる教室

文藝春秋 2,090円(税込)

定時制高校に通う、さまざまな事情を抱えた生徒たち。考え方も年齢もバラバラな4人の生徒が、担任の指導の下で科学部を作り、学会での研究発表を目指します。閉塞感に満ちた彼らの教室はいつしか光のさす明るい場所へと変わっていました。未来への希望を感じられる、胸を打つ物語です。

